

1. 実況上の着目点

① 500hPa5700m付近の正渦度極大域に対応した低気圧が日向灘付近を東進。前線が華南～南西諸島付近を通り、日本の東へのびる。前線近傍の南西諸島では激しい雨を解析し、発雷を検知。紀伊半島沖ではメソサイクロンを検出。

② 500hPa5280m以下の寒冷渦に対応した低気圧が千島近海を東進。500hPa5340m付近で-30℃以下の寒気を伴うトラフが中国東北区を東南東進している。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の低気圧は、23日夜には伊豆諸島付近へ進み、その後日本の東へ進む。前線は、24日にかけて南西諸島付近を通過し、24日朝には、日本のはるか東～沖縄の南へのびる見込み。低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が非常に不安定となるため、雷を伴って激しい雨が降り大雨となる所がある。南西諸島、西日本太平洋側～伊豆諸島では23日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、局地的に竜巻などの激しい突風に注意。また、低気圧や前線近傍では気圧の傾きが大きくなるため、強い風が吹き、しける所がある。東～西日本では23日は、強風や高波に注意。

② 1項②の千島近海の低気圧は東進し、23日夜までには不明瞭化する。1項②の中国東北区のトラフは、23日夜にかけて沿海州付近へ進み、24日には-33℃以下の寒気を伴う寒冷渦となって、北海道付近を通過する見込み。北海道地方では24日は、上空の寒気の影響により大気の状態が不安定になる見込み。落雷や突風、降ひょうに注意。また、寒気の流入により北海道地方では降雪となる所がある。

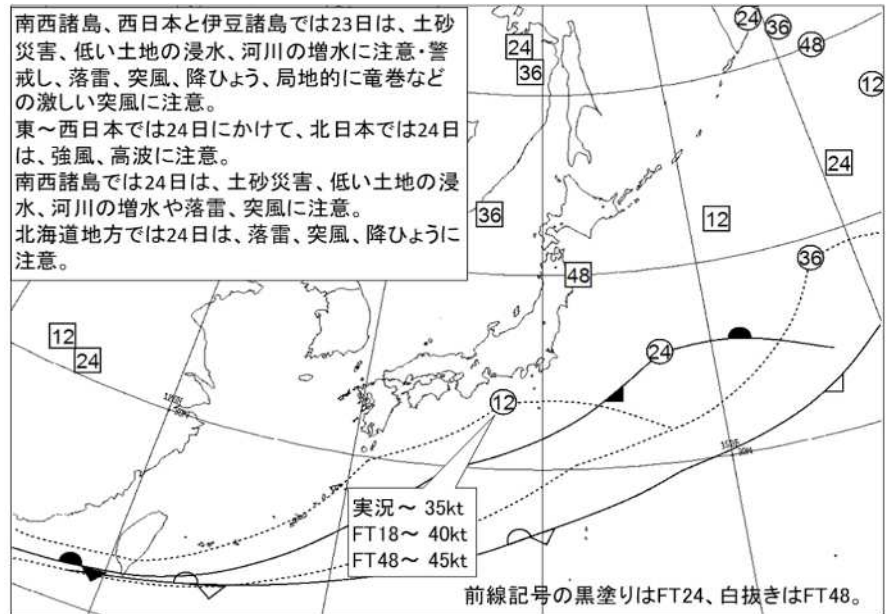
③ 25日にかけて、高気圧が中国大陸から日本の東へ移動し、東北地方～西日本を広く覆う。この高気圧と2項①の低気圧との間で気圧の傾きが大きくなるため、風が強くなり、波が高くなる所がある。北～西日本では24日は、強風、高波に注意。また、高気圧に覆われ日中の昇温が見込まれるため、北～東日本の多雪地では24日にかけて、なだれや融雪に注意。前線近傍では下層暖湿気の影響により、大気の状態が不安定となるため、強い雨の降る所がある。南西諸島では24日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ① 雨量(18時からの24時間)：伊豆諸島120mm。

② 波浪(明日まで)：伊豆諸島4、関東・東海・近畿・四国・九州北部3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。



主要じょう乱解説図